

概要

会社名 株式会社 EBAC	設立 1966年（昭和41年）12月	資本金 5,000万円	代表者 代表取締役社長 佐々木 健
本社所在地 〒152-0023 東京都目黒区八雲 1丁目 6番 5号 TEL：03-3724-3681（代表） FAX：03-3725-0621	横浜工場 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町 205	ソウル支店 大韓民国，ソウル特別市，江西区， マゴクジュンアン 6口11,316,07802， TEL：+82-70-8121-3683	
主な取引先銀行 城南信用金庫 碑倉支店 三菱 UFJ 銀行 都立大学駅前支店 三井住友銀行 目黒支店			

沿革

Create for Innovation

1966年（昭和41年）	12月	「往原設備工業株式会社」を設立、法人組織となり、冷凍機応用分野に関する専門技術を導入し、製作販売並びにアフターサービスに専念する。
1967年（昭和42年）	7月	組織を従来の設備部門に加え医科冷機課を新設する。特に低温分野においては理化学機器メーカーとしての弊社独自の技術により、超低温槽を開発する。ブランド「エバラ・ローテンプ」として製造並びに発売に從事する。
1968年（昭和43年）	12月	日本冷暖房株式会社、国内総輸入元との関係において USA アドミラルフリーザーの国内総発売元となる。
1971年（昭和46年）	4月	資本金を 500 万円に増資。
1973年（昭和48年）	3月	資本金を 800 万円に増資。
1973年（昭和48年）	4月	東京都目黒区目黒本町 3-1-7 に本社移転。
1973年（昭和48年）	12月	代表取締役 佐々木光勝 就任。
1976年（昭和51年）	3月	新技術開発事業団より冷凍血液製剤の製造技術共同開発を受注。
1978年（昭和53年）	12月	冷凍血液製剤の製造技術システムの開発に成功。
1980年（昭和55年）	12月	本社新社屋落成（自社・3階建）にともない、東京都目黒区八雲 1丁目 6番 5号に移転。同時に株式会社往原に社名変更。
1989年（平成元年）	9月	資本金を 2,000 万円増資。
1993年（平成5年）	4月	デンマーク HETO 社の国内代理店となる。
1994年（平成6年）	4月	商標ブランド名を EBAC に変更。
1995年（平成7年）	10月	大阪府高槻市野見町 4-48 に大阪営業所開設。
1996年（平成8年）	7月	医療用具製造業認可証の認可を受領。
1997年（平成9年）	3月	イタリア IARP 社国内代理店となる。
2000年（平成12年）	12月	臍帯血輸送用セルシッパー（ドライシッパー企画開発）販売開始。
2001年（平成13年）	4月	大和冷機工業（株）の代理店となる。
2001年（平成13年）	5月	フランス Jouan 社製品 超低温・遠心分離機国内総発売元となる。
2009年（平成21年）	5月	ISO9001：2008 認証取得
2010年（平成22年）	8月	血液輸送バッグ各種特許取得
2011年（平成23年）	5月	製品倉庫及び特注品製作に特化した横浜工場を開設。中国 HaierBiomedical 社の国内総代理店となる。
2011年（平成23年）	8月	代表取締役社長 佐々木健 就任。
2014年（平成26年）	10月	韓国支店設立
2015年（平成27年）	4月	定温輸送容器の WHO 認証取得
2016年（平成28年）	5月	九州 EBAC サービスセンター開設
2020年（令和2年）	8月	社名を株式会社 EBAC に変更。
2021年（令和3年）	9月	資本金を 5000 万円に増資。

バリデーション

EBACでは、GLP・GMPに準拠した機器管理を支援するため、製品検査・記録文書の作成を含むトータルサービスとして、バリデーション業務を実施しております。

＼バリデーションは全機種実施いたします。ご相談ください。／

バリデーションの各段階での評価内容	
設計時適格性確認 DQ (Design Qualification)	材質、形状、寸法、容量、能力等が設置の使用条件に照らし委当か、取扱い製品の要求事項、技術レベルに反映した設計か検証する。
据付時適格性確認 IQ (Installation Qualification)	設備が設計仕様通りに製作されているか、所定の機能が発揮するよう製作され据付されているか、仕様書と実機の照合を静止状態で実地検証する。
Part11対応 運転時適格性確認 OQ (Operational Qualification)	機器が安定した範囲内の条件で運転できることを稼働状況で確認する。 ＼日本試験機工業会のJTM規格 / 「JIS C9801規格」を引用して実施
稼働時適格性確認 PQ (Performances Qualification)	重要機器または重要プロセスが定常的に有効な稼働状況にあることを確認する。標準作業手順書に従い、教育を受けた人により実施する。

※温度分布測定点の追加や測定時間等は、お客様のご要望にあわせて手順や方法にて実施いたします。

詳しくはこちら→

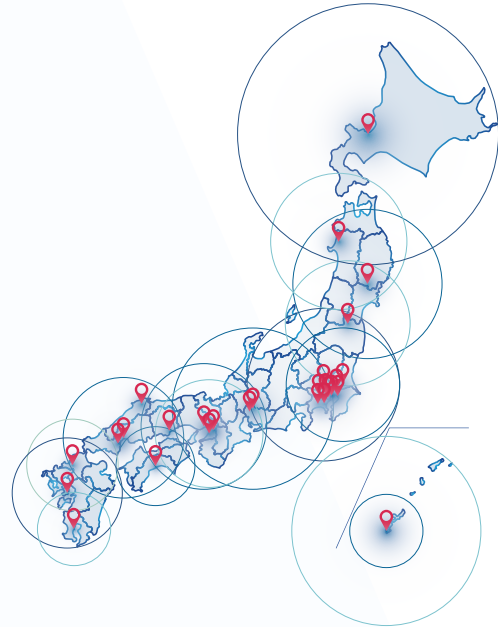


サポート体制

全国に広がる サポートネットワーク

ご使用になられている機器の **修理・メンテナンス** に関しましては、東京本社へご連絡ください。

全国に広がる **販売代理店、特約店** のネットワークを通じて、迅速かつ適切な対応をさせていただきます。



EBAC®

株式会社 **EBAC**

〒152-0023 東京都目黒区八雲 1-6-5

info@ebac.co.jp

03-3724-3681

会社案内

未来を創るモノづくり

グローバル化の急速な進展に伴い、「モノづくりの日本」の技術力に注目が集まっています。

当社は、1966年(昭和41年)の創業以来、理化学機器メーカーとして

超低温技術を活用した冷蔵・冷凍機器の製造に特化した事業を展開。

ライフサイエンス、医療、各種研究の基礎分野から応用に至るコールドチェーンにおいて、

お客様の「こんなことがしたい」というニーズに柔軟に応えるなど、

求められる半歩先を実現する提案力が高く評価されています。

長年の経験と実績をもとに、未来を創るモノづくりに注力するEBAC。

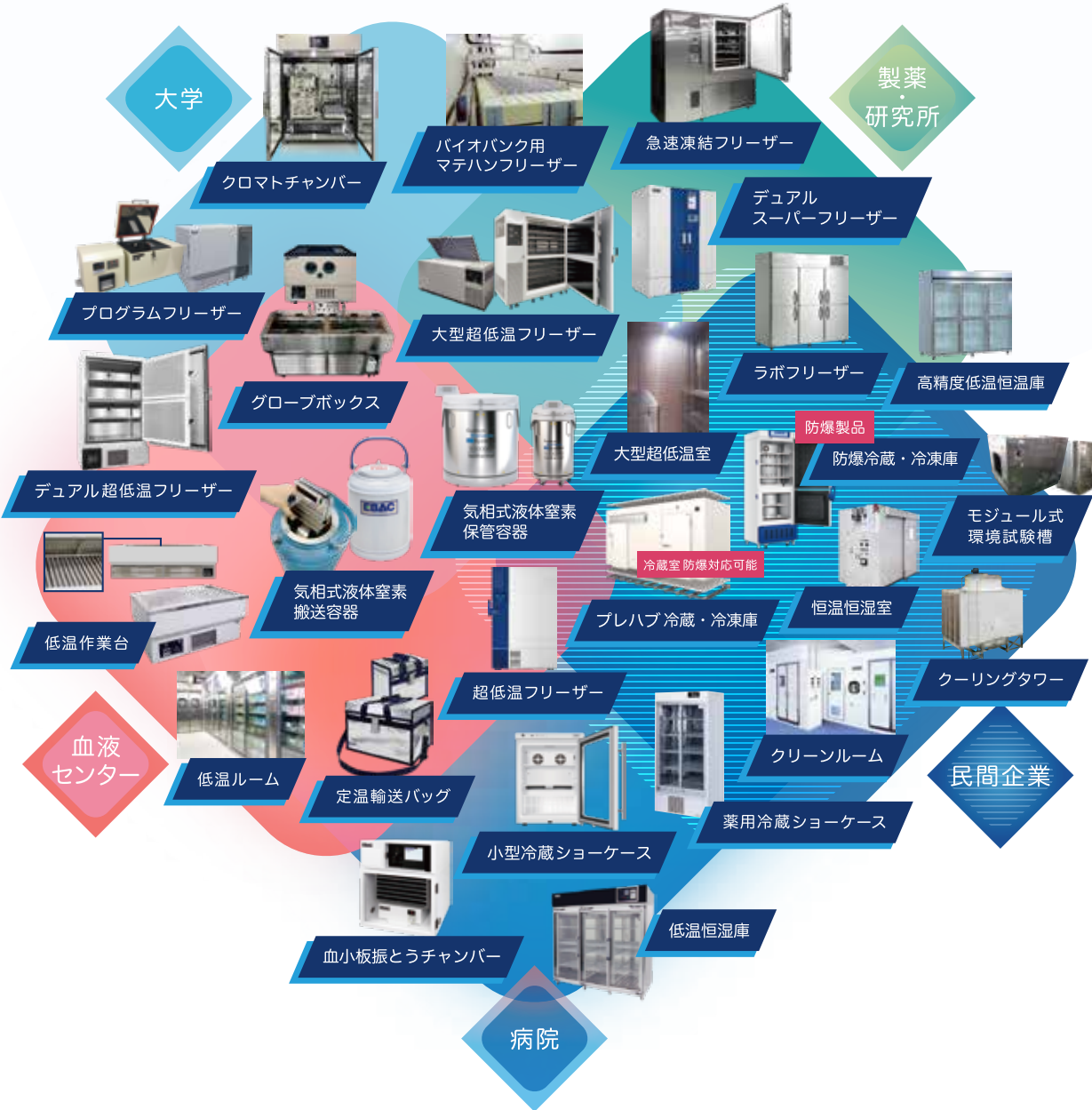
その“Create for Innovation”な姿勢は、日本はもちろん世界からも注目を集めています。

これからのEBACの活躍にご期待ください。

代表取締役社長 佐々木 健

EBAC

主な納入実績



大学

大阪大学
北里大学
京都大学
杏林大学
九州大学
群馬大学
慶応義塾大学
札幌医科大学
昭和大学
自治医科大学
順天堂大学
聖マリアンナ医科大学
筑波大学
帝京大学
東海大学
東京医科大学
東京科学大学
東京女子医科大学
東京海洋大学
東京慈恵会医科大学
東京大学医科学研究所
東京大学
東邦大学
獨協医科大学
長崎大学

名古屋大学
日本医科大学
日本獣医生命科学大学
広島大学
防衛医科大学
星薬科大学
北海道大学
明治薬科大学
山梨医科大学
横浜市立大学
早稲田大学
他 各国公立大学

病院

各国立病院
各都道府県立病院
各市立病院
各大学附属病院
各日赤病院
済生会グループ
JA 厚生連
聖隷福祉事業団
徳洲会グループ

民間企業 / 製薬・研究所

JAXA 宇宙開発事業団
JCR ファーマ
アイシン
旭化成
アサヒビール
味の素
アステラスファーマテック
アステラス製薬
エスアールエル
エーザイ
江戸川区保健所
大塚製薬
オリエンタル酵母工業
神奈川県衛生研究所
キアゲン
キッコーマン
キッセイ薬品工業
共立製薬
協和キリン
極東製薬工業
公益財団法人献血供給事業団
国立医薬品食品衛生研究所
細胞応用技術研究所
産業医学総合研究所

塩野義製薬
ジェイテクト
シスメックス
島津製作所
神鋼造機
スバル
住友化学
積水メディカル
大正製薬
大日精化工業
大日本住友製薬
大鵬薬品工業
第一三共
第一三共ケミカルファーマ
三井倉庫ホールディングス
三菱化学
三菱倉庫
三菱電機
メガカリオン
持田製薬
森永製薬
理化学研究所
ヤクルト
ヤンセンファーマ
雪印メグミルク

官公庁

海上技術安全研究所
海上自衛隊
海上保安庁
寒地土木研究所
原子力科学館
航空自衛隊
厚生労働省
国家公務員共済組合連合会
国立病院機構本部
産業総合研究所
食肉衛生研究所
陸上自衛隊
労働者健康安全機構
全国地方自治体

海外

インド
インドネシア
オーストラリア
韓国
タイ
台湾
ベトナム
モンゴル
他 JAICA・ODA 案件

特注製作の流れ

お客様のコールドチェーン設備を、ご要望に合わせて設計・製造いたします。お気軽にご相談ください。

＼ GDP対応・点検・バリデーション・メンテナンスまでトータルサポート ＼

- | 1 基本計画 | 仕様要件
● 立地条件 | ● 基本構想
● 地盤条件 | ● 施設内容
● 自然条件 | ● 関連法規
● 概算見積 |
|-----------|---------------------------------|-------------------|---------------------------|------------------|
| 2 設計 | ● 基礎
● 断熱パネル | ● 建屋
● 扉・出入口 | ● 設備
● 電気・給排水
● 冷凍機 | ● 防災安全 |
| 3 製作 | ● 基礎
● 断熱パネル | ● 建屋
● 扉・出入口 | ● 設備
● 電気・給排水
● 冷凍機 | ● 防災安全 |
| 4 施工 | ● ハードウェア
● 関連法規 | ● ソフトウェア
● 諸手続 | | |
| 5 試運転調整 | ● 機能チェック
● 負荷チェック | ● 性能チェック | | |
| 6 お引き渡し | ● 旧製品の下取り可能 | | | |
| 7 バリデーション | ● 適格性確認
※バリデーションは全機種実施いたします。 | ● 記録文書作成 | | |
| 8 メンテナンス | ● アフターサービス
● 保守管理 | ● 定期点検 | | |

環境への取り組み

ノンフロン冷媒の導入

当社は、地球温暖化の要因の一つとされるフロンガスの使用を見直し、環境にやさしいノンフロン冷媒への切り替えを積極的に進めています。ノンフロン冷媒はオゾン層を破壊せず、温室効果も大幅に抑制できる冷媒として注目されており、脱炭素社会の実現に向けた重要な選択肢です。これまでフロン冷媒を使用していた製品についても、順次ノンフロン仕様への転換を進めており、社内でプロジェクトチームを立ち上げ、開発・改良に取り組んでいます。これまで蓄積してきた技術と経験を土台に、私たちは持続可能な社会の実現に向けて、これからも変化を恐れず、さらに一歩先の取り組みを追求してまいります。



当社は、ノンフロン冷媒の採用や環境負荷低減の取り組みを通じて、SDGsの「気候変動に具体的な対策を(目標13)」をはじめとする目標への貢献を目指しています。

